

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ゴールドウイン

コード番号 8111 URL <http://www.goldwin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田 明男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 兼財務部長 (氏名) 二川 清人

TEL 03-3481-7203

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	30,765	△7.3	688	57.8	1,501	22.2	1,335	△8.6
21年3月期第3四半期	33,188	—	436	—	1,228	—	1,460	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	22.90	—
21年3月期第3四半期	25.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	42,905	13,864	31.8	234.33
21年3月期	38,479	12,894	33.0	217.78

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 13,660百万円 21年3月期 12,699百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	△2.4	600	211.6	1,800	16.4	1,400	3.7	24.01

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 58,478,218株 | 21年3月期 | 58,478,218株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 182,121株 | 21年3月期 | 163,276株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 58,296,097株 | 21年3月期第3四半期 | 58,318,299株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、一昨年来の景気低迷が続く中で一部に回復の兆しが見られるものの、企業収益の悪化とデフレ経済の深刻化により引き続き厳しい状況にあります。スポーツアパレル業界におきましても、健康に対する意識の向上によりスポーツへの関心は高まっておりますが、消費マインドの冷え込みや消費者の低価格志向により個人消費の低迷が続く、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の中、当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用会社）は当連結会計年度を最終年度とする中期経営計画に基づき経営構造改革に全力をあげて取り組んでおります。販売ロスを削減するため、市場へ早期投入しながらも総供給量は抑制したため前年同期比減収となりましたが、調達手法改革による商品原価低減等により営業利益、経常利益ともに前年同期比増益となりました。

ブランド事業といたしましては、アスレチックスタイル事業におきまして、「スピード」ブランドの積極事業拡大を進めております。本年からの国際水泳連盟の水着ルール改正に適合した『スピード・レーザー・レーサー・エリート』を発表し、1月から市場に投入しており好調に推移しております。また競泳に加えトレーニングにも対応した水陸両用の『スワーム』シリーズも堅調であります。「エレッセ」ブランドについては、ブランド生誕50周年を機会にブランドのプロモーション活動を積極的に実施して再成長を図っております。また、「チャンピオン」ブランドにつきましては、事業構造改革を実施し店頭管理型、実需型ビジネスモデルへの業態転換を推進中であり、本年はスウェットなどのアメリカンカジュアルのイメージをコンセプトにした直営店舗およびショッピングインショップの新店を予定しております。

アウトドアスタイル事業におきまして、「ザ・ノース・フェイス」ブランドは、ジャケット商材、防寒アウターと、以前から強化してきたレディースアイテム、フットウェアが好調に推移しております。

アクティブスタイル事業におきましては、ウインター関連商品の市場全体が厳しい中、消化率については昨年を上回り堅調であります。さらに米国スキー見本市に初出展し、北米市場での販売開始に向けた準備を進めております。また、自転車、バイクウェアなどの通年型商品群も堅調に推移しております。

また、厚生労働省が定める一般医療機器の基準をクリアしたコンプレッションアンダーウェア「C3fit（シースリーフィット）」が第1四半期連結会計期間の発売開始以来大きな反響を呼び、展開店舗数および売上高ともに順調に推移しております。

さらに今秋冬商品として、着るだけで汗のニオイと加齢臭をしっかり消臭する『マキシフレッシュプラス』に高い保温機能を加えたアンダーウェアを、全社横断型商品として「ザ・ノース・フェイス」、「ヘリーハンセン」、「エレッセ」、「カンタベリー」の4ブランドで展開し、堅調に推移しております。また次の春夏向け新商品も開発が進んでおり、今後積極的に拡販する予定であります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高30,765百万円（前年同期比7.3%減）、営業利益688百万円（前年同期比57.8%増）、経常利益1,501百万円（前年同期比22.2%増）、四半期純利益1,335百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

なお、当社グループの売上高は取扱商品の特性上、上半期が下半期に比べて金額が少ないため、連結会計年度の上半期の売上高と下半期の売上高との間に著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて4,426百万円増加し42,905百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加3,367百万円、受取手形及び売掛金の増加1,678百万円です。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて3,456百万円増加し、29,041百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加2,382百万円、支払手形及び買掛金の増加714百万円です。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて969百万円増加し、13,864百万円となりました。その結果、自己資本比率は31.8%となっております。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は6,473百万円となり、前連結会計年度末より3,147百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは706百万円（前年同期は2,732百万円の獲得）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益の計上1,506百万円、仕入債務の増加638百万円であり、主な減少要因は売上債権の増加1,569百万円です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは253百万円（前年同期は866百万円の獲得）となりました。これは主に、出資金の増加および差入保証金に係る支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られたキャッシュ・フローは2,479百万円(前年同期は395百万円の獲得)となりました。これは主に、借入金増加によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、概ね当初の予想通りに推移しており、平成21年5月15日公表の当期予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算出したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において算定した貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

・たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,192	3,825
受取手形及び売掛金	11,031	9,352
商品及び製品	7,280	7,069
仕掛品	101	69
原材料及び貯蔵品	822	777
その他	919	1,419
貸倒引当金	△33	△32
流動資産合計	27,314	22,481
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,274	2,365
土地	1,247	1,247
その他（純額）	449	347
有形固定資産合計	3,970	3,960
無形固定資産		
商標権	889	1,179
その他	191	186
無形固定資産合計	1,080	1,365
投資その他の資産		
投資有価証券	6,345	6,394
差入保証金	3,064	2,937
その他	1,467	1,709
貸倒引当金	△338	△368
投資その他の資産合計	10,539	10,671
固定資産合計	15,591	15,998
資産合計	42,905	38,479

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,034	10,320
短期借入金	4,360	1,978
1年内償還予定の社債	690	1,230
1年内返済予定の長期借入金	2,601	1,890
未払法人税等	112	110
賞与引当金	295	463
返品調整引当金	193	318
その他	1,675	1,411
流動負債合計	20,962	17,722
固定負債		
社債	—	140
長期借入金	5,335	5,223
退職給付引当金	1,838	1,719
その他	905	780
固定負債合計	8,078	7,862
負債合計	29,041	25,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,329	10,329
資本剰余金	8	8
利益剰余金	5,169	3,834
自己株式	△41	△38
株主資本合計	15,465	14,134
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	96	20
繰延ヘッジ損益	△33	△35
為替換算調整勘定	△1,868	△1,419
評価・換算差額等合計	△1,805	△1,434
新株予約権	185	185
少数株主持分	18	9
純資産合計	13,864	12,894
負債純資産合計	42,905	38,479

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	33,188	30,765
売上原価	20,248	17,767
売上総利益	12,939	12,997
返品調整引当金戻入額	162	125
差引売上総利益	13,102	13,122
販売費及び一般管理費	12,665	12,434
営業利益	436	688
営業外収益		
受取利息	27	23
受取配当金	37	29
持分法による投資利益	1,124	983
その他	136	100
営業外収益合計	1,325	1,137
営業外費用		
支払利息	220	222
為替差損	117	9
その他	195	92
営業外費用合計	533	324
経常利益	1,228	1,501
特別利益		
固定資産売却益	387	0
貸倒引当金戻入額	16	21
その他	50	—
特別利益合計	454	22
特別損失		
固定資産処分損	12	5
店舗閉鎖損失	—	3
ブランド整理損	56	—
特別退職金	—	5
その他	41	2
特別損失合計	110	16
税金等調整前四半期純利益	1,572	1,506
法人税、住民税及び事業税	112	168
法人税等合計	112	168
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	3
四半期純利益	1,460	1,335

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	13,861	12,629
売上原価	8,044	6,937
売上総利益	5,817	5,692
返品調整引当金戻入額	135	135
差引売上総利益	5,952	5,827
販売費及び一般管理費	4,342	4,241
営業利益	1,610	1,586
営業外収益		
受取利息	9	7
受取配当金	10	6
持分法による投資利益	171	365
その他	42	26
営業外収益合計	233	404
営業外費用		
支払利息	68	78
為替差損	102	1
その他	53	28
営業外費用合計	225	109
経常利益	1,619	1,881
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	22
受取補償金	27	—
その他	—	0
特別利益合計	27	22
特別損失		
投資有価証券評価損	5	1
特別退職金	2	—
その他	2	—
特別損失合計	10	1
税金等調整前四半期純利益	1,636	1,902
法人税、住民税及び事業税	48	56
法人税等合計	48	56
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	1
四半期純利益	1,587	1,845

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,572	1,506
減価償却費	494	548
投資有価証券評価損益 (△は益)	6	1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	38	119
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11	△30
受取利息及び受取配当金	△64	△53
支払利息	220	222
持分法による投資損益 (△は益)	△1,124	△983
有形固定資産売却損益 (△は益)	△387	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△774	△1,569
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,192	△248
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,072	638
その他	510	405
小計	2,745	556
利息及び配当金の受取額	651	589
利息の支払額	△203	△229
法人税等の支払額	△128	△210
訴訟和解金の支払額	△332	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,732	706
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△954	△1,097
定期預金の払戻による収入	952	1,175
有形及び無形固定資産の取得による支出	△79	△135
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,026	0
投資有価証券の取得による支出	△13	△32
投資有価証券の売却による収入	38	4
差入保証金の差入による支出	△16	△123
差入保証金の回収による収入	42	28
その他	△129	△74
投資活動によるキャッシュ・フロー	866	△253
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	14,600	13,480
短期借入金の返済による支出	△11,148	△11,098
長期借入れによる収入	750	2,150
長期借入金の返済による支出	△2,830	△1,327
社債の償還による支出	△980	△680
その他	3	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	395	2,479
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,989	2,930
現金及び現金同等物の期首残高	4,619	3,326
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	216
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,608	6,473

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）および当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

スポーツ用品関連事業の売上高および営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計および営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）および当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）および当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

スタイル事業別連結売上高

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
アスレチックスタイル事業関連商品	10,779	32.5	9,201	29.9	△14.6
アウトドアスタイル事業関連商品	14,838	44.7	14,749	47.9	△0.6
アクティブスタイル事業関連商品	4,717	14.2	4,280	13.9	△9.3
その他	2,852	8.6	2,535	8.3	△11.1
合計	33,188	100.0	30,765	100.0	△7.3